



しがレクからのおたより

令和3年度 第1号 2021.5 発行

滋賀県レクリエーション協会 事務局 発行

送信・返信先 〒525-0052 滋賀県草津市西矢倉 3-17-13 黒川かず江方



ご 挨 拶

レク活動で 心のストレスをはじき出そう

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。平素は滋賀県レクリエーション協会に対し、ご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年度はコロナ禍により、ほとんどの事業が中止という厳しい試練に見舞われました。

本年度につきましても、さらに厳しい状況下ですが、少人数で三密に配慮しつつ少しずつ活動を始めたいと考えています。過日も淡海レク指協のニュースポーツ部会を開催しました。半日ではありますが、種目はポッチャとガラキューをニュースポーツ部会長の指導により楽しく研修できました。参加者はそんなに多くはなかったのですが、非常な盛り上がりで特にガラキューの用具を淡海レク指協で購入することを決め、更には数人が個人的にも用具を購入したいと申し込みされました。

レクリエーションは生活に密着している活動であり、レクに対して声なき声があちこちから聞こえてきます。コロナ禍のなかで、人と触れ合ったり運動そのものから遠ざかっている多くの方々に、楽しく心の健康を目指すレク活動を提供できるように今後も頑張っていきたいと考えています。

会 長 前 山 亨

令和3年度理事・評議員会終了

今年度の理事・評議員会も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面による決議としました。理事及び評議員の過半数を超える書面による評決があり、すべての議案に対して賛成多数で議決されました。

可決されたのは「令和2年度事業報告」「令和2年度決算報告」「令和3年度事業計画」「令和3年度予算」です。

せっかく可決・承認いただいたにも関わらず、現段階で、コロナ禍がどうなっていくか状況を判断することは難しいのですが、今年度の事業についても、中止及び変更をせざるを得ない状況になってきています。しかし、こんな時だからこそ、レクリエーション協会ができること、しなければならないことがあるのではないかと考えます。

皆様のお知恵を借りて今年度の協会運営をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事長・事務局長 溝江 透

令和2年度第2回フォローアップセミナー終了しました

コロナ禍で第1回のフォローアップセミナーは中止となりましたが、春の足音が近づいてきた3月6日(土)第2回フォローアップセミナーを生涯学習センターで開催することができました。

大津皇子山公園の早咲き桜「初御代桜(ハツミヨザクラ)」が咲きはじめたこの季節にピッタリの『桜の花びらの器』を、淡海レク指協クラフト部会部長の南 マサヒロ氏 指導のもと 皆楽しみながら作り始めました。桜色を基調に2片ほど色を変えて華やかな仕上がりとなりました。

次に中央の小花が可愛い『魔法の小箱』を同じくクラフト部会の 永持 和子さん の指導で取り組みました。折り方は簡単でしたが、組み立て方に気を付けながら、時間いっぱい使って完成することができました。

「さっそくそれぞれのサークル活動の場で、今日研修した作品を皆様に紹介したい」という声が聞こえるほど実り多い時間になりました。

(西條 智晴)



フォローアップセミナー

会員向けのセミナーを開催します。詳しくは同封のチラシを参照してください。

日時：令和 3年6月13日(日) 9:30~16:30

会場：木之本運動公園広場 体育館

内容：ニュースポーツ(リングゲーム、ポッチャ、ガラッキー、ビンゴゲーム)

持ち物：体育館シューズ、筆記用具、昼食、保険証等

会費：無料(会員でない方は、3000円)

会員の活動報告

甲賀市レクリエーション協会

「あそびの日 ニュースポーツ教室交流 夢の学習子ども」を開催しました。2021年5月8日（土）の午前中に土山屋内運動場においてニュースポーツを実施しました。参加者は16名で、キャッチング・ザ・スティックやポッチャを楽しみました。コロナでの参加の不安な時に参加し、体を動かし子どもとの交流が出来、楽しく時間を過ごせました。キャッチング・ザ・スティックでは、マスクの中での笑顔が浮かぶほど、笑ってリフレッシュできました。ポッチャでは、子どもたちがハッスルし、勝った、負けたと喜びの声を上げていました。



活動中の指導者紹介

山口 寿津子さん（大津市）

レクと私の出会い

二十数年前私は児童館に勤めていました。毎日どんな遊びを子どもたちに提供したら喜んでついてきてくれるのかと、思い悩みながら仕事をしていました。

その前に勤めていた幼稚園には、プログラムのカリキュラムがあったので、それに沿って色々と計画をすれば良かったのですが、児童館は0歳から18歳までの子どもたちと、それに付随する保護者の方たちにも喜んでもらおうと思うと、プログラムを考えるのが本当に難しいことでした。そんな時にレクリエーションのインストラクター養成講習会のチラシが児童館に送られてきました。同僚と一緒に受講してみようかということになり、二人で申し込みました。今まで県内といえども大津市から出たことのない私には水口や長浜や希望が丘文化公園などは未知の世界でした。

主人に運転をしてもらって必ず下見に行ったことが懐かしく思い出されます。でも、そのお陰で以後はいろいろなレクやゲームなどを使って子どもたちと楽しい活動ができました。そして今は、それが地域の高齢者の方たちとのふれあいとなり楽しんでもらっています。

レクリエーションの小ネタ

コロナ禍における幼児教育とレクリエーション

昨年4月にコロナ禍で緊急事態宣言が発令され、1年が経過しました。まだまだ京阪神ではまん延防止等重点措置が適用され、そして3度目の緊急事態宣言が発令され、予断が許されない状態が続いています。しかしながら、このような時期だからこそ、幼児教育に携わる体育教員が、レクリエーションを通して、何か果たす役割があるのではと考えました。

まず、
す
会員限定記事
思いま

i.
た。
楽しんで

たとえコロナ禍であっても、試行錯誤でありましたが、工夫次第で、園児が愉快地に体力づくりができることを体感しました。今後も、様々な不測の状態が生じて、教員の工夫次第で、園児の心身の健康にレクリエーションが大きく寄与することが、今回の経験を通して知ることができました。園児の発育にとって、レクリエーションがどのような役割を果たすのか、様々なデータの検証を行いながら、微力ながら、今後も本研究に取り組んでいきたいと考えている所存です。

(滋賀短期大学 山中博史)

